

(平成20年度実施事業)

事業評価表

事業CD. 0103106 - 01000

京 都 府 南 丹 市

作成日: 平成21年05月11日

事業名	後期高齢者医療事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ()	市民部 国保医療課 担当: 塩邊 健一
事業区分	事業分類: (B)ソフト事業 政策体系CD: 141 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	関連法令・条例等	高齢者の医療の確保に関する法律、京都府後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例、南丹市後	

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
市民が生涯を通じて健康で安心して生活できるための事業。
京都府後期高齢者医療広域連合の人件費、事務費等を構成する各市町村が負担し支出。また、医療給付に要する経費の各市町村分を支出。
後期高齢者医療事業特別会計の事務費分と京都府広域連合へ支出する保険基盤安定負担金分を特別会計へ繰出金として支出。
- ②事業を実施する必要性
平成20年度から後期高齢者医療制度の施行に伴い京都府後期高齢者医療広域連合が組織され、広域連合により京都府の75歳（一定の障がいがあり認定された方は65歳から）以上の医療業務が運営されている。この制度を運営していく上で必ず必要なものである。
- ③未実施事項
なし
- ④他にも効果が見込める施策があるか
なし

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円		17,423	468,804	532,395	532,400
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円		0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0
	国・府支出金	千円		0	74,391	78,000
	地方債	千円		0	0	0
一般財源	千円		17,423	394,413	454,395	454,400
職員等従事人員	人/年	—	—	0.35		
人件費	千円	—	—	2,476		
事業費総額	千円	—	—	471,280		

【主な支出の内訳】

京都府後期高齢者医療広域連合分賦金 13,204千円 (負担金)
療養給付費負担金 317,993千円 (負担金)
後期高齢者医療事業特別会計繰出金 137,608千円 (繰出金)

【近隣市町村の取り組み状況】

全国で同内容事業を実施している。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

【所属長総括評価】

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点
制度の周知方法
- ②当該事業のアピール事項
制度の周知のための広報、電話・訪問によるきめ細かい説明
- ③反省点、今後の展開・方向性等
制度そのものの見直しが検討されている。高齢者にとってわかりやすい制度にすべきである。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	141	事業名	後期高齢者医療事業		
事業CD.	103106-01000	細事業名			
所管部局	市民部	所管課	国保医療課	担当	塩邊 健一

103106-01000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
負担金支出	京都府後期高齢者医療広域連合の person 費、事務費等に 係る本市負担分を負担金として支出した。また、医療給付 に要する経費の本市負担分を支出した。	年間	京都府後期高齢者医療広域連合 分賦金(事務費等) 年4回 13,203,147円 療養給付費負担金 年11回 317,992,894円
繰 出 金 支 出	後期高齢者医療事業特別会計の事務費分と京都府広域 連合へ支出する保険基盤安定負担金分を特別会計へ繰 出金として支出した。	年間	後期高齢者医療事業特別会計繰 出金 年2回 137,607,541円